

第165回電波利用懇話会 (ARIB,JUTM共催)

「空の産業革命実現に向けたロボット・ドローン用 電波利用の最新動向」

ご 案 内

一般社団法人電波産業会

空撮、農薬散布、商品の宅配、そして災害現場での観測や測量などの目的で小型無人機（ドローン）の利用が急速に進んでいます。ドローンの利用がさらに進み、上空利用の変革が産業、社会、生活への変革をもたらすことが期待され、「空の産業革命」とも呼ばれています。

政府では、2015年より「小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会」を開催し、安全確保、利用促進、技術開発等様々な視点からの課題の解決に取り組んできました。2018年6月「空の産業革命に向けたロードマップ」の改訂版を公表し、有人地帯での目視外飛行による小型無人機の利活用に向けた技術開発、環境整備に取り組むこととしています。

一方、ロボットやドローンを安全かつ効率的に運用するための技術として欠かせない電波利用に関しても制度、運航管理システム等の整備、技術開発や実証実験などの検討が進められています。

今回の電波利用懇話会では、総務省移動通信課 石黒課長補佐には、改訂版ロードマップを踏まえた総務省における電波利用の政策動向について講演していただき、日本無人機運行管理コンソーシアム (JUTM)の秋本事務局長には、ロボット・ドローンの安全運行等に必要な技術開発及び環境整備へのJUTMの取り組みと福島ロボット実証区域での実証実験報告等について、JUTM 無人移動体画像伝送システム運用調整WGで主査を務められています工学院大学工学部の羽田准教授には、2016年8月に利用可能となったロボット/ドローン用無線周波数帯「無人移動体画像伝送システム」の運用調整の概要と開発した無線機の運用実験についてご講演いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2019年1月18日(金) 午後2時から4時まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
- 3 題名・講師 : プログラムに記載
- 4 参加者 : 70名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 5 申込先 : 当会ホームページの講演会等開催案内よりお申込ください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
なお、当会会員、賛助会員以外のJUTMメンバーはメール
(jutm@sogo.t.u-tokyo.ac.jp)にて申し込んで下さい。
(メールタイトル: 懇話会申込み、様式自由、氏名、会社名を明記。)
- 6 参加費 : ARIB正会員、賛助会員及びJUTMメンバーは無料、非会員は5,000円
- 7 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 小田島 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2018@arib.or.jp
日本無人機運行管理コンソーシアム (JUTM)事務局
E-mail: jutm@sogo.t.u-tokyo.ac.jp

以上

第 165 回電波利用懇話会 (ARIB,JUTM 共催)

「空の産業革命実現に向けたロボット・ドローン用 電波利用の最新動向」

プ ロ グ ラ ム

日時:2019年1月18日(金) 14:00-16:00

場所:一般社団法人電波産業会 会議室

時 間	次 第	講 師
13:30	開場	
14:00	開会	
14:00～ 14:05	開会挨拶(ARIB)	一般社団法人電波産業会 企画国際部長 杉林 聖
14:05～ 14:40	講演1 ドローン等に使用する無線システムの 動向	総務省 総合通信基盤局電波部移動通信課 課長補佐 石黒 文博 様
14:40～ 15:15	講演2 「空の産業革命」実現に向けた環境整 備に対する JUTM の取組	日本無人機運行管理コンソーシアム(JUTM) 事務局長 秋本 修 様
15:15～ 16:00	講演3 無人移動体画像伝送システムの利用 状況	日本無人機運行管理コンソーシアム(JUTM) 無人移動体画像伝送システム運用調整 WG 主査 工学院大学工学部 准教授 羽田 靖史 様
16:00	閉会	

プログラムは予告なく変更される場合があります。